

サイエンスアゴラ in 京都

第4回京都“超”SDGsシンポジウム

「暮らし・地域と持続可能性」

プログラム



京都大学“超”SDGsシンポジウムは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

2020年11月
京都大学

※本企画書に記載されている企業様名は原則として順不同となっております。悪しからずご了承くださいませ。
※「サイエンスアゴラ」とは、科学技術振興機構（JST）が主催する科学と社会をつなぐ日本最大級のオープンフォーラムです。あらゆる人々が対話・協働し、それを政策形成や知識創造へ結びつける共創のプラットフォーム構築を推進しています。2017年度より、ビジョンやテーマを共有する機関とともに共創活動の振興を図る連携企画を実施しています。

企画趣旨



今こそ、みんなでSDGsデビュー＆グリーンリカバリー

●京都大学超SDGsシンポジウムとは？

第1回「食と持続可能性」、第2回「資源・エネルギーと持続可能性」に続き、2020年3月に開催予定であった第3回「プラスチックと持続可能性」は、新型コロナウイルスの影響で、カタチを変えて一部オンラインで実施。例えば、7月～8月には**京都大学・FRaU共創企画**として「超SDGsリーダー500人の大編集会議～かばんの中から世界を変えるはじめかた。今日、京からできる10のこと。～」というイベントに昇華し、20以上のプロジェクトに分かれ、積極的なディスカッションが行われました。現在、社会実装に向けて、引き続きの議論が行われています。それはまさに、学生、社会人、研究者の枠を超えた、多世代、多分野が交流し議論する**リアルディスカッション型のイベント**となりました。

●第4回は・・・

「暮らし・地域と持続可能性」というタイトルのもと、あらためて私たちの**暮らしの中からSDGsへの取り組み**を見つけ、みんなで共にアクションをするきっかけづくりにしたいと思います。新型コロナウイルスの影響は、盛り上がりつつあった環境意識に大きく水を差す場面もありました。しかし、逆に腰を据えて、取り組むべき事項を見定める機会にもなりました。今こそ個人レベル、企業レベルでの**グリーンリカバリー（環境に配慮しながらの復興）の必要性**が叫ばれています。いち早く取り組んでいる事例も紹介していきたいと思います。

●JSTサイエンスアゴラ、2025大阪・関西万博とのコラボレーションも！

また、**科学技術振興機構（JST）とのコラボレーション**は、11月15日からオンラインで開催されるサイエンスアゴラ2020に、京都超SDGsコンソーシアムとして出展参加するだけでなく、2020年3月に実施予定であった**2025大阪・関西万博に向けたセッション**を、アップデートした内容にて実施予定です。2025年に向けた取り組みの発信を考えております。今回は、ウェビナーによる配信をはじめ、オンラインによるプログラムが中心となりますが、時には実際に意見交換する場を設けるなど、企業、自治体、学生、研究者などの意見の交流を積極的に行いたいと考えています。

●ご支援・ご参画のお誘い

是非とも本企画をご覧いただき、ご支援・ご参画いただけますよう、お願いいたします。なお、これらの取り組みは、京都大学の独自性を活かしつつ、協働・共創で進めるものです。様々な視点からのご意見、ご示唆、ご助言、具体的なアイデアをいただくとともに、ご興味あるテーマに関して、もっと深くご一緒してみたいと思われたら、是非ともご一報くださいませ。**新規プロジェクト**に関しては随時アップしてまいります。

サイエンスアゴラ in 京都

第4回京都大学“超”SDGsシンポジウム「暮らし・地域と持続可能性」

- ・主催 : 京都大学
(地球環境学堂、調和ある地球社会研究ライトユニット、環境安全保健機構附属環境科学センター、エコ〜るど京大、産官学連携本部 ほか)
- ・共催 : 京都超SDGsコンソーシアム (京都大学、京都市、日本たばこ産業(株)、安田産業(株)、(株)リコー、ソフトバンク(株)、(株)ecommit、セブン&アイ・ホールディングス、三洋化成工業(株) 他)
国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)、(一社)びっくりエコ発電所ほか
- ・後援・協力 : (公社)2025年日本国際博覧会協会、
関西SDGsプラットフォーム (予定) ほか
- ・開催日 : 2020年11月11日 (水) ~ 2021年2月20日 (土)
- ・会場 : 京都大学、京北SDGs里山拠点
- ・内容・方法 : オンライン (zoomウェビナーによるシンポジウムやセミナーほか)
オンサイト展示、講演会、WSなど、実証実験ほか
- ・参画企業・団体数 : 70程度
- ・来場者・参加者 (見込) : のべ20,000人
※詳細・最新情報は、WEBで発信予定



第4回京都超SDGsシンポジウム&博覧会「暮らしと持続可能性」

今日も明日もSDGs!



エコ〜るど京大を始め、学生メンバーがナビゲート!

2020年11月11日~12月4日 平日17日間(土日祝はお休み)

朝 6:45~7:15 (Zoom) 夜 22:45~23:15 (YouTubeライブ, 再放送)

11月からSDGs デビュー! 朝の30分で1日分のSDGsを補給しよう!

踊ろう!



マイボトルダンス

一緒に楽しく踊って眠気を吹き飛ばそう!

参加しよう!



お便りコーナー

視聴者の投稿を紹介! みんなで作るコーナーです

毎日チャレンジ!

今日のSDGsクイズ

全問正解、皆勤賞の方に景品をプレゼント!



試そう!



バラバラボ

捨てがちな所もおいしく食べるには…?

考えよう!

1日1SDGs



ゴールのわかりやすい紹介から最近のニュースまで様々な視点から知って、考えて、議論します!

学ぼう!

グリーンリカバリーのすすめ

コロナ後、より環境配慮やSDGsを促進させる企業の取り組みを紹介頂きます!



世界の国からSDGs

留学生のリアルな声をお届け!

参加申込 ↓



<https://forms.gle/VYd9vP1CvDoXfShK9>

主催: エコ〜るど京大 (<https://eco.kyoto-u.ac.jp/>), 京都超SDGsコンソーシアム





皆で踊ろう!

マイボトルダンス

マイボトルダンスとは

は

環境負荷削減やスマートなライフスタイルの実現を目指して、マイボトルを持ち歩くスタイルが浸透し始めています。一方、給水施設や入れられる飲料種の少なさなど、普及に向けての課題はまだ多く在ります。**マイボトルがより多くの人の意識にのぼり、行動につながる**ことを目指し応援するオリジナルダンスを提案します。

プラ・イド革命とは

この取り組みは、身の回りに溢れている**プラスチック製品**の持続可能な付き合い方を考え実践する「みんなのプラ・イド革命」プロジェクトの一環です。学生を中心とした「京都大学プラ・イド革命」と連動して、日々活動しています。

トキメキ☆マイボトル 作詞・振り付け：白井亜美、作曲・歌：鈴木崇

動画はこちら：<https://drive.google.com/file/d/13YQml0nvoKCa-KDq-BcqKfXDPOeWHI2M/view?usp=sharing>

※11/11からの「今日も明日もSDGs」企画にて、様々な企業・団体の方々のダンスをSNS配信する他、ポルタなどでも上映予定!

食のバラバラボ

私たちは1日にお茶碗1杯分の「まだ食べられる食べ物」を捨てていると言われていています。SDGs目標12でもターゲットとされている**食品ロス**の問題。どうすれば解消できるのでしょうか？

食のバラバラボとは、食材を皮や種などの各部分に「バラバラ」に分解し、**捨てられがちな部分の価値**や**活用する方法**をとことん研究する「ラボ」です。学生や教員だけでなく、専門知識や食に思い入れのある多様なゲストも交えて、様々な角度から研究していきます。

今まで気付かなかった部分の価値や使い方を発信することで、「食材との向き合い方」を見直すきっかけを作り、食品ロス削減を目指します。

ラボでの**議論の様子**、その結果生まれた**捨てられがちな部分を使ったレシピ**はこちらから↓

https://www.youtube.com/playlist?list=PLW_NiyJVarBOGLBeYz-IvPtu0cRz7AJm6

今後はより多くの人を巻き込みながら、新たな食材にも挑んでいきます！



連携シンポジウム：中山間地域から考える地域循環共生圏の可能性 —全国先進地及び京都におけるSDGs・資源循環分野の取り組み事例を中心に—

[主催] 環境省、廃棄物資源循環学会 [後援] 京都府、京都市、南丹市、京都超SDGsコンソーシアムほか

[日時] 令和2年11月10日(火) 13:30~18:00

[会場・実施方法] オンライン&オンサイト(京都府立ゼミナールハウス「あうる京北」)

[定員] オンライン300名、オンサイト100名(事前申込み制) [参加申込] 学会WEB (<https://jsmcwm.or.jp/>)

[プログラム]

13:30 開会の挨拶

京都府知事 西脇隆俊

環境省環境再生・資源循環局 次長 松澤裕

廃棄物資源循環学会 会長 吉岡敏明(東北大学)



京都府 西脇知事



真庭市 太田市長



南丹市 西村市長



京都市 門川市長

<基本情報&先進地事例紹介>

13:45 資源循環分野における地域循環共生圏形成について(仮) 環境省廃棄物適正処理推進課

14:05 有機系廃棄物資源化と木質系バイオマス事業への道のり 岡山県真庭市 太田昇市長(ビデオご挨拶)

真庭市総合政策部 部長 有元均

<京都の事例紹介>

14:45 SDGs先進地・京都市における取組(仮) 京都市 門川大作市長

15:10 バイオマス利活用先進地・南丹市「森、里、街、ひとがきらめくふるさと」を目指した取組 南丹市 西村良平市長

<パネルディスカッション>

15:45 コーディネーター：廃棄物資源循環学会 酒井伸一(京都大学)

パネリスト：京都高度技術研究所アステム(ASTEM)(多様なバイオマス技術システム) 中村一夫

南丹市八木バイオエコロジーセンター(湿式メタン発酵処理施設) 事務局長 中川悦光

森の力京都株式会社(木質ペレットの製造販売) 社長 久保 和則

南丹市農林商工部農山村振興課 課長 片山正人

京都市右京区京北出張所 所長 大東一仁

環境省廃棄物適正処理推進課

17:40 **ご案内** 地域再エネを最大限導入するための体制構築に向けた令和3年度環境省予算事業について 環境省環境計画課

17:50 **閉会の挨拶** 廃棄物資源循環学会 理事 浅利美鈴(京都大学)

【事前オンラインレクチャー】 令和2年11月6日(金) 16:00~17:00

農業分野における地域循環共生圏の考え方と事例 間藤 徹(京都大学名誉教授)



- 11月18日(水) 10:00～12:00
- 京都の里山ライフ
～SDGsライブ中継～
- 里山の暮らしには、SDGs・持続可能性にヒントになる様々な知恵や工夫がつまっています。京都の里山とオンラインでつないで、いくつかの象徴的な場所と人、知恵や工夫を紹介していきます。SDGs的な視点からも、暮らしの知恵や工夫を浮き彫りにしていきます。これからの働き方、里山での暮らし方（ワーケーション、パラレルワーク等々）へのヒントがいっぱいです。
- 申込はこちらから

https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/2020/planning/planning_1801.html

舞台は、1,300年の歴史を支えてきた
京都市北部の山間地域「京北」



様々な働き方、生き方をしておられる方を、数珠つなぎで紹介していきます。京都大学の学生・院生や京都超SDGsコンソーシアムメンバーがナビゲーターを務めます。

連携企画：2020年11月19日13:00-16:30 国際連合創設75周年記念事業 芸術文化学術フォーラム2020 in 京都【オンライン】

- 主催 国連、京都芸術大学
- 共催 世界連邦日本国会委員会、京都芸術大学、日本国際連合協会
- 後援 国際連合大学、国際連合広報センター、外務省、日本国際連合学会、国会有識者諮問機関 グローバルガバナンス推進委員会、京都大学ほか

◆フォーラム内容◆

- ウェルカムスピーチ 尾池和夫学長
- 趣旨説明 田中朋清SDGs推進室長
- ビデオメッセージ ファブリツィオ・ホスチャイルド国際連合75周年記念担当事務総長特別顧問 国際連合事務次長
- 基調講演① デイビッド・マローン国際連合大学学長・国際連合事務次長
- 基調講演② 明石 康 元国際連合事務総長特別代表
- 薩摩琵琶演奏 友吉鶴心氏
- パネルディスカッション 「国際社会における芸術文化学術の活用による全人類の連帯構築の可能性について」
座長 日本国際連合学会理事長・関西学院大学副学長 神余隆博氏 司会 谷本真邦客員教授
パネラー パソナグループ 代表 南部靖之氏
国連大学学長・国連事務次長 デイビッド・マローン氏 松竹芸能取締役 小林敬宜客員教授
世界保健機構(WHO)駐日代表 サラ・ルイズ・バーバーさん 田中朋清SDGs推進室長
日本ユネスコ協会連盟 理事長 鈴木佑司氏 穴野 史生客員教授 宗教法人扶桑教 管長
大阪大学副学長・前国際連合大使 星野俊也氏 京都芸術大学 客員教授 中野信子さん
京都大学環境科学センター センター長・教授 酒井伸一氏
パソナグループ 代表 南部靖之氏
- コンクルージョン 長谷川祐弘特別教授 元国際連合事務総長特別代表
- 京都芸術文化学術宣言および協定調印式
- 歌唱 島谷ひとみさん SDGsソング「circle」「亜麻色の髪の乙女」
- 閉会宣言 谷本真邦客員教授

2020年12月12日(土)

13:00~15:00

SDGs 問 答

小学生から、
シニアまで
大好評の
この企画!

国連の持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals (SDGs)」には、環境・社会を網羅する17のゴールが掲げられています。英語で、数も多く、とっつきにくいかもしれませんが、一つひとつ見ていくと、私たちの日々の暮らしにも根差したものであり、総体としてみると、社会や街の理解につながる事がわかります。

本企画では、様々な方をメインスピーカーとしてお招きし「持続可能性・SDGs」をテーマに、問答させていただきます。

第三回は科学技術・文化などの力で、ワクワクしながら、SDGsを実践するためのセッション。2025年大阪・関西万博では、今までとは異なるワクワクの仕掛けが満載!参加型の企画も沢山あり、早くもプロジェクトが始動します。みなさんも、その一員に!

事前に、取組概要を知るオンラインレクチャーも実施します。

12月11日(金) 17-19時



JST (国立研究開発法人科学技術振興機構) 理事
佐伯 浩治



京都市長
門川 大作



公益社団法人
2025年日本国際
博覧会協会 広報
戦略局長
堺井啓公

お申込み方法

◎Zoomにて、直接、質問に出演して頂ける方

(限定数募集 ★京大SDGsグッズプレゼント!):11月末までにメール(ecocheck@eprc.Kyoto-u.ac.jp)にて名前、ご所属、お聞きになりたい事項をお知らせください。ただし、当日の進行によっては質問できない場合があります。

◎ZoomやYoutubeにて

参加・視聴されたい方:

こちらのフォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/hnLj8zgLtdwY63xSA>



2020年12月11日(金)

17:00~19:00

第三回SDGs問答 事前レクチャー

「研究や企業、自治体のSDGs取組の先端は？」
「2025万博って、つまりは何なの？」
「本当に、万博に今から参加できるの？」

第三回SDGs問答は、科学技術・文化などの力で、ワクワクしながら、SDGsを実践するためのセッション。2025年大阪・関西万博では、今までとは異なるワクワクの仕掛けが満載！参加型の企画も沢山あり、早くもプロジェクトが始動します。12/12の問答では、各組織を代表する方々が、意義を深掘りのお話しを展開します。より理解を深めるため、問答に先立って、各組織の取組の前線・現場に立つ関係者が、概要を紹介する事前レクチャーを実施します。

●話題提供予定者

- SDGs達成に向けたJSTの取組～Science for global well-being
荒川敦史（国立研究開発法人科学技術振興機構（JST） 「科学と社会」推進部長）
- “未来を共創する” 2025年日本国際博覧会
今村治世（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 広報戦略局 戦略事業部 戦略事業課）
- SDGs・レジリエンスと多様な主体の協働
佐藤晋一（京都市 総合企画局総合政策室 SDGs・市民協働推進部長）
- 京都大学によるSDGs・持続可能性に関する取組紹介
浅利美鈴（京都大学地球環境学堂 准教授）
- 京都超SDGsコンソーシアムメンバー企業
(株)リコー
日本たばこ産業(株)
安田産業(株)
ソフトバンク(株)
(株)ecommit
(株)セブン&アイ・ホールディングス
三洋化成工業(株)
京北SDGsクラブ（仮）

◎申し込みは第三回問答と同じ申し込みサイトから可能です。【主催】京都超SDGsコンソーシアム